

一般質問 Digest

9月定例会では16名の議員が登壇しました。長引く景気低迷のなか、農業や商工業など産業振興に関する質問が多くありました。



防犯・防災

災害に備え、近隣自治体と「災害姉妹都市」の締結を

Q 5月下旬に陸前高田、仙台に行き、両市の市長から、近隣自治体との連携の重要性を教えていただいた。大村市も近隣自治体と災害姉妹都市を結んで、災体制を強化することを提案するがいかがか。

A 災害時の相互応援について
は、現在、伊丹市など空港所在地7市で協定を結んでいる。また、年内に武雄市など新幹線沿線5市で協定を結ぼうと考えている。

防災無線の早急な整備について

Q 東日本大震災の教訓から大

A 村市に目を移してみると、移動無線が設置されているだけで防災体制が整っているとは言いかない状況である。防災無線を早急に整備すべきではないか。



都市整備

なぜ学校の敷地を削つて公園にするのか

Q 三城小学校の敷地の一部を公園にする計画がある。この場所は、学校にとつては学習活動に必要な場所であり、学校は地域の人々の思いや努力によって支えられてきた地域の宝物である。なぜ学校敷地を削つてまで公園にする必要があるのか。

A 都市再生整備計画において、既存の公園、公共施設の位置などを勘案し決定した。当該地は荒れている状況であり、学校にとっても今回の整備で良好な環境をつくることができるとの判断した。

住宅・店舗リフォーム補助金の創設について

Q 地元企業への経済効果が高いといわれている住宅・店

A 補助リフォーム資金の助成制度について、その創設を求める請願を議会は全会一致で採択した。市長は、この議会の意思をどう解釈しているのか。

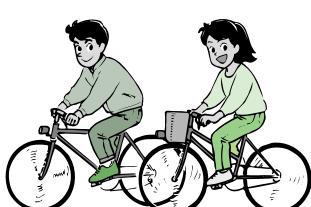


生活・環境

電動アシスト自転車の普及について

Q 大村市は県内でも平坦地が多く、CO₂削減のまちというスローガンも掲げている。自動車から自転車への先鞭をつける意味で、通勤・通学用に限定して4分の1程度の助成ができるないか。

A 電動アシスト自転車購入への助成制度については、補助対象者や補助金額などの条件を含め、前向きに検討していく。平成24年度には対応していきたい。



A 現在、一斉伝達システム整備基本方針を策定中で、平成26年度までには整備を終えたい。

A 現在、一斉伝達システム整備基本方針を策定中で、平成26年度までには整備を終えたい。

A 議会での請願採択の重さは十分に認識している。現在、内部で検討しており、今年度中に結論を出したいと考えている。